

フリースタイルな 僧侶たちの フリースタイルな フリースタイルな

2012/2・3
Vol.15
Japan
since 2009.8

Special
ダライ・ラマ法王 in 高野山



Report+

仏教体験「坊主BAR」

フリースタイルな行者の「精進生活」
イベントインフォ ETC

<http://freemonk.net>



ダライ・ラマ 法王 in 高野山

His Holiness the Dalai Lama in Koyasan

チベット仏教の最高指導者ダライ・ラマ法王14世(以下、法王)が2011年10月30日から11月6日まで来日されました。日程の前半は大阪と高野山でチベット密教金剛界マンダラ灌頂¹と講演会を、後半は宮城県と福島県(東日本大震災の被災地)で被災された方々に対して法要と法話を行われました。

私が取材した大阪と高野山への訪問は、高野山大学創立125周年の記念事業として実現し、金剛界マンダラ灌頂の他にも科学者や大学教授たちとの対談、これからは担う青年僧との対話をされました。法王が聖地・高野山を訪れるのは、31年ぶりのことです。

法王の講演に行かれたことのある方は、そのお話が日本のお坊さんのいわゆる“法話”と違うことをご存じでしょう。日本の僧侶の多くが人生訓を話すのに対して、法王は仏教哲学に基づいた論理的なお話をされます。文化に左右されない“仏教”をお話しされるのが、世界中の人々から傾聴される理由でしょう。

「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」15号では、そんな法王の言葉に触れてもらいながら、仏教の教えや仏教に対する新たな視点を皆様にお届けしたいと思います。

1 煩惱を砕く堅固な智慧の世界を表した金剛界マンダラ。そのマンダラの仏に縁を結ぶ儀式。



渡邊弘範

石尾山弘法寺副住職。いづみ座～弘法寺文化さろん～企画長。大阪大学大学院・工学研究科を修了後、沢木耕太郎氏の『深夜特急』に触発され、世界40数ヶ国を放浪。帰国後は、高野山大学大学院においてチベット僧の巡礼記を研究する。

現在、石尾山弘法寺で「いづみ座～弘法寺文化さろん～」 「お経と、お散歩。」 「高野山の呼吸法(阿字観)」 「お寺でベビーマッサージ」などを企画。

<http://www.ican.zaq.ne.jp/kobozhi/>



ダライ・ラマ 法王 in 高野山

His Holiness the Dalai Lama in Koyasan

チャーミング!

ダライ・ラマ法王が講演の最初にされることがあります。「照明が眩しいので帽子を被っていいですか。皆さんの顔がよく見えるように」と言っていて、着ている僧服と同じワインレッドのサンバイザーを被ることです。緊張した会場は笑いに包まれ、同時に和やかな雰囲気となります。そんな様子を見て法王は大らかな声で「ほっ、ほっ、ほっ」と笑います。

法王に会われた人の多くは、その印象を「チャーミングな人」だったと語ります。ユーモアを交えた語り口や、時に大きく笑うその姿は、私たちに親しみを与えてくれます。おそらくどんなに良い話でも、心に響くかどうかはその人の話し方や雰囲気によって決まってくるのではないのでしょうか。同じ目線で語りかけてくれる法王の言葉は、「ダライ・ラマ」という称号だけではない声となつて私たちの心に深く刻まれます。

心の豊かさを考えるヒント

法王の話で一番多いトピックは、「慈悲」つまり「他人を思いやる心」です。今回の講演でもその話題に多くの時間を費やし、なぜ他人を思いやる心が大切なのかを世俗的な倫理観に基づいて3つの理由から話されました。

「第1番目として、命ある生き物にとって愛情は欠かせないものであることがあげられます。例えば、哺乳類のような生き物である場合には、母または



母に代わる人から愛情を受けて育つので、他者から愛情を得て育っている感覚があり、そういった人は、自分もまたそのような愛情を相手に与えることができる人間として育ちます。

第2の理由として、思いやりがある環境が大切なことがあげられます。もし家庭のメンバーの中で、お互いの愛情が深いものである場合、自然に幸せな家庭ということになります。例え経済的に余裕があつて、社会的な権力や立場があつたとしても、家族の中に心からの愛情がなく、嫉妬心や競争心、相手を信じることができないような気持ちがある場合には、その家庭は幸せだとは言えません。そして、他の人に対する愛情や思いやりを持つためには、自分自身を愛するという事ができなければなりません。自分自身を大切にできない人は、他人に気遣いや優しさをかけることはできません」

これら2つの理由は、ありきたりのようですが、とても大切なことを示唆しています。私たちは20世紀の高度経済成長で、物質的な豊かさを手に入れましたが、それが等しく「幸せを得る」ということではないのも知りました。法王の話は心の豊かさを考えるヒントになるのではないのでしょうか。

仏教と科学

「第3には、愛と慈悲の心を持つことがよいという科学的な裏づけがあります。仏教では心を鎮めるための方法が説かれ、人間の感情にはどのようなものがあるのか、そしてそれぞれの感情がどのよ

うな機能をしているのかということが經典の中で非常に詳しく説かれています。科学者はこの話に関心を示すと同時に、科学的な立場から脳細胞を調べるということをしています。以前は全ての意識は脳細胞からしか発生してこないという考え方を持っていました。最近では意識の変化によって脳細胞も変化するというを受け入れる人々も出てきています」

仏教には心を訓練する教えがあり、その教えを馴染ませる方法として瞑想があります。有田秀穂氏が『仏教と脳科学』で書かれているように、瞑想や呼吸法が、ストレスへの耐性を高める脳内のセロトニン神経を活性化するという科学的なデータも示されるようになってきました。古の教えと思われていた仏教が科学とリンクし始めています。

実は、ダライ・ラマ法王も仏教と科学の関係性に関心を示しており、およそ30年も前からインドのダラムサラ²に西洋の科学者を招いて対話を繰り返しています。今回の高野山訪問でも、法王の希望で著名な科学者との対談が行われました。それらの対談の中で、法王が近代科学に興味を示すのと同じくらい、科学者も仏教の科学的な側面に興味を示しています。

科学者が注目する仏教の科学的側面は、大きく2つに分けることができます。まず1つは、上記でも示した「仏教は心の科学」ということです。「經典には、人間の意識や感情のことが詳しく書かれている箇所があり、「空の理解」と「ヴィパッサ



ナ、つまり精神集中力を高める修行」の二つの修行を通して、どのように精神力を高めるかということが詳しく述べられています。そのような心の分野において、仏教は近代科学に貢献できるのではないかと思います」と法王が述べられているように、仏教徒と科学者が対話することは、お互いに有益な情報を交換できるのではないのでしょうか。

そしてもう1つは、仏教の基礎的な教えである「関係性」についての考え方です。最先端科学では、物質世界をホロニックなネットワークとして捉えることが重要となってきました。高野山での法王と科学者の対話の中で「何も無いような所からビッグバンが起こるといふようなことを研究してきた」という科学者の話に続けて、法王は以下のように答えました。

(次ページへ続く)

1 法王は他者に対する思いやりを高める方法論には3種類あると言っています。1つは、キリスト教などの神を受け入れている宗教の方法論。2つ目は、仏教などの神を信じることと因果の法を信じている宗教の方法論。そして、3つ目として、一人の良き人間として生きていくための世俗的な倫理観に基づいた方法論である。この世俗的な倫理観は宗教に信心している人にも、していない人にもアドバイスすることができる方法論であるため、法王は大切なものであると言っています。

2 インド北方ヒマチャル・プラデーシュ州の山地、チベット亡命政府の拠点であり、ダライ・ラマ法王の住居がある。



「何もない状態、いわゆる0という状態がすべての始まりではないかと思えます。そこで0には2つのレベルがあります。まず1つに、0というのは全く何もないというのではなく、他のものに依存せずに独立した存在ではない、それ自体の側から独立して存在しているものではないということです。仏教でいうところの因果の法や空の教えです。

2つ目として、物理学における0ということです。これは何も存在しないという意味で、最初の段階という意味の0です。仏教では虚空、宇宙の中には微粒子のようなものがあり、そこには何も無いように見えるのだけど、実際にはそこには非常に微細なレベルの微粒子が存在していると考えます。ビッグバンなどは、宇宙にあるその微粒子のような存在から始まったのではないかと思えます」

昨年末、「ヒッグス粒子発見間近」という見出しが新聞を賑わせました。ヒッグス粒子とは、素粒子に質量を与える役割を担った仮説上の素粒子なのですが、ヒッグス粒子の証明は、質量を持たないものが質量を持つことができる可能性を示すこととなります。つまり、0のところから何かが生み出される可能性です。

学校教育で習う物理学では、質量保存の法則により、質量0はそのもの自体が質量を持つことはありません。しかし、ビッグバン以降に質量を持つものができたとすると、質量保存の法則では説明できなくなってしまう。そこで近代科学では、すべては相互依存している「関係性の中にある」の



だと考えることが重要となってきました。仏教で説かれる“縁起”という思想にも代表されるホロニククなネットワークの考え方が、科学の中で注目されています。仏教と科学のリンクが、もしもしたら世界を変えるような仮説を生むかもしれません。

他人への思いやりと、自分の幸せ

今回の講演において、私は幸運にもダライ・ラマ法王に質問させていただける機会を得ました。高野山で開かれた講演会の一つに、ダライ・ラマ法王と松長有慶高野山真言宗管長が青年僧の質問に答えるというものがあり、その時に張り切つて手を挙げると、法王の目にとまりました。そこで普段から疑問に思っている質問を投げかけてみました。「社会と関わる僧侶として、自らが思いやりを持つて接しても、他者に拒絶されることもあります。では、仏教には他者の心を変える教えはあるのでしょうか」と。

法王は少しうなずかれた後、シャーンティデーヴァの言葉を引用して「この世の中の苦しみのすべては他の人を害したことから生じ、そしてすべての自分が得ている幸せは他の人達を助け、そして労わったことから生じる」と仰いました。

さらに話を続けて、現在の国際情勢や経済危機、環境問題に目を向け、自分さえよければいいというエゴイズムをたしなめます。

「21世紀を生きている現在の私達は、自分のこと



ばかりを考えて生きていくわけです。世界的な経済危機の原因の源は、人間のあまりに行き過ぎた欲望から起こっているのだと思います。

毎日、経済つまりお金のことばかり考えて生きていてもなお、経済的な苦しみを背負ってしまっています。これは非常におかしなことであり、経済の事だけを考えて暮らしている人ほど、経済的な問題や苦しみを抱え込んでしまう結果になってしまっているのです。世界中にある環境問題も全く同じではないでしょうか。私たちが住む地球というのは、人類家族の家であり、この大切なものを自分たちできちんと面倒を見ることがなく、目先の利益だけを考えてしまうことが、環境にこのような結果を及ぼしているのではないのでしょうか」

そして最後には、この特集の冒頭でも取り上げた「他人を思いやる心」が自分の幸せにも繋がるのだということに触れ、「自分だけのことを考えると、いうことをせず、自分以外のすべての命あるものたちのことを考えるということをしていくならば、自分自身の心の中に自信がついて、心の勇気が湧いてきます。このような状態になることができたならば、例えどのような外的な問題が起こったとしても、私たちはいくらでも頑張つてそれを克服していくことができるようになります」と言いつつ締めくくられました。

(写真提供 高野山大学)

38世紀のインドの大聖者。『入菩薩行論』を著した。

フリースタイルな行者の 「精進生活」



昨年十二月十一日。五日間の不断護摩行に入る前日。
「もう迷いなし」といって、堂の扉を閉める。

今より一切の食事、熱量となるものは摂取しない。時間を浪費せず、励み修行すると誓う。

籠もるのは修行前夜から。丸五日間籠もって、次の朝にもう一座行するまでの足かけ七日間の期間である。その間は誰とも会わない。一人でやらなければ愚痴をこぼすだろう。「しんどい」とか「はらへった」とか…。一人だからできる行だと思っ。護摩を主に行じてゆくのだが、護摩の合間に『仏遺経教』というお経も読んだ。

「少欲を行する者は、目や耳や鼻や舌や身や心の欲求に振り回されて心をうばわれることはなく、心は穏やかに愛いや恐れをもつことがない」(『仏遺経教』)

そう言うものの四日目に腰痛、空腹、眠気が一気に襲ってきて、丸くなつて縮こまらしてしまつた。しかし、最初に誓いをたてた以上は奮起して、行じねばならない。何のために修行しているのかと、自分自身に何度も問うてみる。修行者の私に願いはない。私が願わずとも護摩次第の廻向の文句には願いが書かれている。その内容は、私達がいつもお経の最後に読む廻向文の意味と変わらない。

「願わくはこの功德をもつて遍く一切に及ぼし、我らと衆生とみなともに仏道を成ぜん」(廻向文)

私は僧侶だから祈る。ただ、祈らせていただけることが最良の幸せてあると感じた。本尊様のありがたさをひとしと感じた一座もあった。通過点の様に重ねた一座もあった。

最後の一座を終え、薄暗い護摩堂から出てきた時、太陽の輝きがとてもまぶしく感じた。いつもどおりの日常の流れがあり、再びその流れにゆつくりと戻っていく。

この度もただ肅々と行じさせていただいた。満行できたことは本当にありがたいことである。南無、南無。

小野剛賢 昭和51年3月17日生 高野山真言宗 薬師院 副住職
<http://www.eonet.ne.jp/~yakushi/> 高野山真言宗・薬師院HP
<http://ajikan.blog.eonet.jp/default/> ブログ

お酒が活かす仏教「坊主 BAR」

仏壇で見かける鐘を鳴らして注文し、「諸行無常」と名付けられたカクテルを飲む。

僧侶である店主羽田高秀さんが作り出す「坊主 BAR」は、そこに来る人の心持ちを少し変えるようだ。

「普段話さないようなことでも、お坊さんがやっている空間だとなんか話せる」そう語る一緒に来た友人と酒を酌み交わすうちに、「坊主 BAR」への筆者の疑念は、いつしか仏教の斬新な可能性に対する期待へと変わっていた。

「お寺だけならこんなにたくさんの人と会えず、話もできなかった。お客さんにいろんなお酒を飲みながらいろんな話をしてほしい。お酒があることによって除かれる苦しみもあるんじゃないでしょうか」カウンターの内側で穏やかに見守りながら、時にはお客さんの悩みも聴く。

仏教が活きるのに、人の集まらない寺もいいけれど、人が集まるバーもいいかもしれない。バーの片隅にある仏壇がどこか輝いて見えた。(辻村優英)

「京都坊主 BAR」

〒604-8237 京都市中京区油小路通蛸薬師下る山田町 526 番地

Tel: 075-252-3160 HP: <http://bozu-bar.jp/field.html>

阪急電鉄「烏丸」駅・京都市営地下鉄「四条」駅より徒歩 6 分

営業時間: 19:00 ~ 26:00 (L.O. 25:30)



3/11
日曜日

東日本大震災復興支援チャリティー 月の明かりコンサート@石尾山弘法寺

「すべての人をステージへ」をコンセプトに掲げるミュージックドックが、東日本大震災復興支援に音楽でお役に立ちたいと、「お寺でジャズ」を行う石尾山弘法寺でチャリティーコンサートを開くことになりました。

呼び掛けに賛同した多くのミュージシャンが、本堂という非日常空間で幅広いジャンルの音楽を奏でます。音の力、そして会場に足を運んでくれる皆さんの力が、古より“仏”と表現される大いなる力となって、被災地に届くことを願います。

「月の明かりコンサート」にご来場お待ちしております。

日 時：2012年3月11日(日)
会 場：石尾山弘法寺(泉北高速鉄道 和泉中央駅から徒歩 10分)
時 間：13:30 open
14:00 start
19:00 finish

入場料：500円(全て寄付金、義援金として被災地へ送られます)
出演者：杉浦理恵 / 矢谷トモヨシ + 竹田ノリユキ / SPAPS / 和多田雄介 / ハイジ + ペーター / プラス 2 / 豆電球 / 圧縮技術
法 話：渡邊弘範(「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」Vol.15 輪番編集長、真言宗僧侶)



【お問い合わせ】
ミュージックドック
web: musicdoc.jp mail: info@musicdoc.jp
【協力】
石尾山弘法寺 web: www.ican.zaq.ne.jp/kobozhi/

11日
毎月

祈りと和 ～ロウソク2本のキャンドルナイト～

フリスタは、東日本大震災からの復興に向けて継続的に支援を続けていくため、「祈りと和」プロジェクトに参画します。

昨年3月11日に東日本大震災が発生してから、多くの人が追悼と復興を願って祈りを捧げました。

「祈りと和」は、ロウソク2本を灯して数字の「11」に見立てて、毎月11日に祈りの時間を共有します。一緒に「祈りとはなにか」を味わい、復興支援のために、そして、私たちの未来のためにも、祈りを捧げてみませんか？

実行部では、祈りの「見える化」をはかるため、写メなどで「祈り」をマッピングするなど検討しています。

「祈りと和」はロウソク2本さえあれば全国どこでも実施できます。協働していただける方(お寺も一般の方も)を募集中しています。詳細と最新情報は以下のページをチェック!!

<http://ja-jp.facebook.com/inorinowa>

※3月11日には以下のお寺で「祈りと和」の開催を決定

場所：圓福寺 愛知県岡崎市岩津町檀ノ上 85
定員：100名
申込先：都築仏壇店
Tel：0564-62-6111
Fax：0564-62-4788
mail：m-moon@sk2.aitai.ne.jp

2/9
木曜日

経典をナナメから読む会 第2回

ちょっと小難しそうな解説書の説明からいったん離れて、参加者それぞれの感じ方を大事にしながら、経典を素朴に味わう時間。それが「経典をナナメから読む会」です。

第2回のテキストは、お釈迦様の言葉をもっとリアルに遺しているといわれる『スッタ・ニパータ』

辻村と池口がゆるーく経典について語っていきますので、参加者のみなさまからも臆することなく感じるままにツッコミを期待します。きっと、新しい気づきがあるはずですよ。

平成24年2月10日(祝)19時～21時
会費：1,500円(フリスタ会員は1,300円)
※うち1,000円は震災復興支援のため寄付いたします。
定員：10名 ※要予約・先着順
会場：フリースタイルな僧侶たち オフィス
〒600-8119 京都市下京区河原町通五条下ル
本塩竈町 583-5 kawaramachi place 1002 号室
Tel: 075-555-5730
京阪電鉄「清水五条」駅より徒歩6分

予約連絡先：info@freemonk.net
※フリースタイルな僧侶たちホームページからも申込みできます。

好評開催!!
2月19日8時～ 朝一坐禅(会場: mocomococafe / 京都)
※詳細はフリースタイルな僧侶たちホームページ
(http://freemonk.net)に掲載中!

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジンは

「仏教を通じて誰もが心安らかに生きられる社会づくりを」
それが、仏教に縁をいただきながら生きる私たちの願いです。

「お坊さん＝お葬式」というイメージが定着しています。しかし、仏教にいま求められているのは、お葬式だけのお寺とのつきあいではなく、先行きが見えず生きにくい社会を、心安らかに生きられる社会に変えて欲しいということではないでしょうか。

私たちは、その期待に応えるために、既成概念に固執することなく、日本仏教のあり方をフリースタイルに見つめ直していきます。

仏教を心のよりどころにして、いまを生きるということと一緒に考えてみませんか？

カフェでの座禅会（朝一座禅）、お寺で専門家と宇宙を語る集い（お寺で宇宙学）、仏教入門のためのトークライブ、年末には禊ぎの法会（仏名会）など、仏教を実際に体感できるイベントや法会も随時開催しています。気軽にご参加いただければ幸いです。詳細はホームページよりご確認ください。

私たちの活動をご理解くださる方は、よろしければサポーターとしてご支援のほどお願いいたします。サポーターズ・クラブの詳細は本誌裏表紙をご覧ください。また、一緒にこれからの仏教のあり方を考える僧侶の方々や、デザイナーやコピーライターなど誌面作りと一緒に参加いただけるボランティアスタッフも随時募集しています。どうぞお気軽にお問い合わせくださいませ。

お問い合わせ先：tel: 075-555-5730
fax: 075-777-9579
info@freemonk.net

死にたいと思う気持ちを 相談してください

- ※ 相談は無料です
- ※ 相談内容および個人情報は厳守いたします

○電話相談○

NPO 法人「京都自死・自殺相談センター Sotto」

今あなたが感じている、ありのままの気持ちをおきかせください。

Tel: 075-365-1616

受付時間：毎週金・土曜日 19時から翌朝 5時 30分

<http://www.kyoto-jsc.jp>

○手紙相談○

「自殺対策に取り組む僧侶の会」

自死（自殺）に関する相談・質問等を手紙（書簡）で受け付けます。

**あて先：〒108-0073 東京都港区三田
4-8-20 往復書簡事務局**

※返信には 1 週間から 10 日程度の日数がかかります。

<http://homepage3.nifty.com/bouzsanga/>

読者のみなさまからの お便りを紹介!

フリスタではみなさまのお便りを募集、紹介しています。今回はお手紙で届いたお便りからのご紹介です。

いつもマガジン送付いただきありがとうございます。
14冊になりました～！
日常生活を切り離して見つめ直すということも新しい
発見です。
自分自身を知るきっかけにもなりますね～。

(A・Mさん・女性・兵庫県)

誌面に関するご意見、ご感想もお待ちしております。お気軽にお便りください。応募は郵送、FAX、電子メール、また Web サイトでも受け付けます。ご応募お待ちしております。

あて先：フリースタイルな僧侶たち 編集部
〒600-8119 京都市下京区河原町通
五条下ル本塩竈町 583-5
kawaramachi place 1002 号室

FAX : 075-777-9579

Email : info@freemonk.net

Web : <http://freemonk.net>



編集後記

フリスタの輪番編集長を任されて以来、どのような記事にするかを悩んでいたのですが、キーワードの一つとして「グローバルな仏教」がありました。

宗教は風土や文化によって変遷するものであり、日本仏教は日本古来のアニミズムや先祖供養という宗教性を抱え込んで今日の形態を取っています。私たち日本人にはそれが「腑に落ちる」ものなのですが、文化でさえもグローバル化する現代において、仏教にもグローバルな視点というのは欠かせないように思います。

今回の「ダライ・ラマ法王in高野山」という企画は、法王の高野山訪問と私の輪番編集長の時期が偶然重なったことよって実現したのですが、読者の皆さんにはグローバルな仏教に触れてもらう良い機会になったと思います。仏教には様々な側面があり、「これが仏教だ」と指し示すことができませぬ。全体を緩やかに包括しながら、その関係性を重視する「空」なる教えを大切にするのが仏教です。今回の記事からも、広がりのある仏教の世界を知って、そこから何かのヒントを得ていただけるのではないかと思います。

最後に舞台裏を明かせば、今回の企画は法王の講演中も交渉が続く綱渡りのようなものでした。こうして記事にできたのも協力してくださった多くの方々、特に高野山大学の関係者の方々とフリスタメンバーのお陰です。どうもありがとうございました。

(15号輪番編集長

石尾山弘法寺副住職 渡邊弘範)

協賛のご報告

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。以下に、法人サポーターの方々のお名前のみ掲載させていただきます。

- 安心院 (京都府八幡市・浄土宗)
- 安楽寺 (京都府南丹市・浄土宗)
- 石尾山弘法寺 (大阪府和泉市・真言宗)
- 延命寺 (大阪府堺市・浄土宗)
- 円融寺 (京都府目黒区・天台宗)
- 教伝寺 (京都府船井郡・浄土宗)
- 窪之坊 (山梨県南巨摩郡)
- 九品寺 (京都府京都市南区・浄土宗)
- 光照院 (東京都台東区・浄土宗)
- 光徳寺 (福岡県みやま市・浄土真宗本願寺派)
- 光明院・田中医院 (京都府京都市中京区・浄土宗西山禅林寺派)
- 光明寺 (滋賀県草津市・真宗興正派)
- 西明寺 (兵庫県尼崎市・浄土宗)
- 浄栄寺 (滋賀県東近江市・浄土宗)
- 浄観寺 (滋賀県甲賀市・浄土宗)
- 浄元寺 (兵庫県尼崎市・浄土真宗本願寺派)
- 性高院 (愛知県名古屋市中区・浄土宗)
- 正善寺 (兵庫県伊丹市・浄土宗)
- 正法寺 (時宗・京都市東山区)
- 勝楽寺 (東京都町田市・浄土宗)
- 信覚寺 (福岡県朝倉郡・浄土真宗本願寺派)
- 心光院 (東京都港区・浄土宗)
- 瑞聖寺 (東京都港区)
- 崇福寺 (滋賀県甲賀市・浄土宗)
- 大圓寺 (東京都目黒区・天台宗)
- 臺鏡寺 (大阪府枚方市・浄土宗)
- 檀王法林寺 (京都府京都市左京区・浄土宗)
- 潮音寺 (東京都大島町・浄土宗)
- 長壽院 (東京都台東区・浄土宗)
- 梅窓院 (東京都港区・浄土宗)
- 宝泉寺 (愛知県津島市・浄土宗西山禅林寺派)
- 法善寺 (大阪府大阪市・浄土宗)
- 法然院 (京都府京都市左京区)
- 法華寺 (京都府亀岡市・日蓮宗)
- 万行寺 (東京都東村山市・浄土真宗本願寺派)
- 無量光寺 (鳥取県鳥取市・浄土宗)
- 薬師院 (大阪府岸和田市・真言宗)
- 龍光寺 (和歌山県海草郡・日蓮宗)
- 株式会社 薫寿堂 (兵庫県神戸市)
- 寺院コム (京都府京都市東山区)
- 浜屋 株式会社 (兵庫県姫路市)

※ 五十音順に表示しています。
※ 協賛は随時受け付けています。



Mamaia
浜屋は
関西最大級の
お仏壇・お仏具・
墓石の専門店です。

浜屋は個人情報保護の企業を認
プライバシーマーク取得企業
です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は
通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル
イロイロクヨー
0120-1616-94
●受付時間/午前11時から午後7時まで

製造直売・関西最大級、30店舗の安心ネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- | | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| ●京院王寺店/大和・王寺町 ☎(0745)31-2211代 | ●西宮店/171番・下大寺 ☎(0798)51-2211代 |
| ●京院生駒店/近畿・生駒市 ☎(0743)83-2211代 | ●伊屋店/JR・山崎西 ☎(0797)35-1194代 |
| ●甲和田店/2国・西之内 ☎(072)445-2211代 | ●三田店/三田・対中町 ☎(079)559-2211代 |
| ●神風店/第2・和和町 ☎(072)261-2211代 | ●神戸本店/元町・4丁目 ☎(078)371-2211代 |
| ●藤井寺店/近鉄・藤井寺 ☎(072)954-2211代 | ●新長田店/JR・新長田 ☎(078)621-2211代 |
| ●明川店/中野・交差点 ☎(06)6709-2211代 | ●明石店/森友・交差点 ☎(078)927-2211代 |
| ●中興大塚店/近鉄・西町田 ☎(06)6783-2211代 | ●加古川店/JR・駅前南 ☎(079)426-2211代 |
| ●堺屋川本店/石津・交差点 ☎(072)829-2211代 | ●高砂店/明徳駅前中 ☎(079)443-2211代 |
| ●北守屋岡地店/長尾・家具町 ☎(072)836-2211代 | ●姫路本店/駅前・新幸通 ☎(079)282-2211代 |
| ●高槻店/高槻・短尾町 ☎(072)683-2211代 | ●姫路店/高槻町・安地 ☎(0790)22-2211代 |
| ●文木店/文木・大手町 ☎(072)822-2211代 | ●網干店/網干・浜田町 ☎(079)272-2211代 |
| ●中野店/豊中・豊中駅前 ☎(06)6848-2211代 | ●龍野店/龍野・大塚東 ☎(079)162-2235代 |
| ●川西店/川西・大町2 ☎(072)759-2201代 | ●赤穂店/赤穂・塩屋東 ☎(079)145-2211代 |
| ●伊丹店/宝島・駅前西 ☎(072)775-2211代 | ●山崎店/兵庫・山崎町 ☎(0790)62-5171代 |
| ●肥後店/阪神・駅前南 ☎(06)6413-2211代 | ●浜屋工場 三宮駅前・土山町 ☎(079)293-2211代 |

■本社/姫路市南殿町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

お仏壇泡洗浄専門店

京都北白川 **一步堂** IppoDou



お仏壇を美しくするのは、ご先祖さま大切な亡き方への感謝の心です。
お宅さまのお仏壇、汚れてないか今一度見直してみませんか？



<念仏浄>



<金箔泡洗浄>



<金箔補修>



<金具洗浄>



<紗修復>



<外扉磨き>

安価で仏壇仏具の修復のプロが昔の輝きに修復いたします

お仏壇の特許泡洗浄(特)メイクリンお仏壇本舗加盟店

京都北白川 **一步堂**

☎フリーコール 0120-929-666

詳しくは… | 京都 仏壇 一步堂 | で検索!



サポーターズ・クラブ会員募集中!!

私たちの活動に共感し、
応援していただける方を大募集中!!

- 対象者 フリスタを応援して下さる方
協賛年会費 5千円(個人)/3万円(法人)
※サポーターズ・クラブの皆様には、年間6回発行予定の本誌をお届け
します。また、frisuta主催の各種イベントにおいて、優待いたします。
※法人会員の方々は、誌面にお名前を掲載させていただきます。
- 会費振込先:三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 池口 龍法
※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください。

広告募集中!!

本誌「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」に広告を
出しませんか?
本誌は関西の寺院や仏具店をはじめ、カフェやスペイン料理店
まで、様々な場所に設置しています。設置箇所は現在も拡大中
(ホームページで確認できます)！
興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

《媒体情報》
仕様: A4 サイズ・12頁・カラー
発行部数: 10,000部 (2012年2月現在)

**お申し込み、お問い合わせは、フリースタイルな僧侶
たち編集部(電話番号などは下記)まで。ホームページか
らもお申し込みいただけます。**

毎月1・15日発行

本誌姉妹版

「フリースタイルな僧侶たちのメールマガジン」
もお見逃しなく!!

frisutaのスタッフがお届けするメールマガジ
ンが存在するのを知っていましたか?
誌面上では語れない制作の舞台裏や最新のイベ
ント情報などを配信しています。メルマガの登録
は、「フリースタイルな僧侶たち」ホームページよ
りお待ちしております。

一緒に誌面作りませんか?

デザイナーやコピーライターなど誌面作りに一
緒に参加いただけるボランティアスタッフも随時
募集しています。

仏教との出会いの中に、きっと新しい気づきが
生まれるはず。誌面制作を通じていまを生きて
ることをともに考えてみませんか?

ご関心ある方は、下記の連絡先宛にお気軽
にお問い合わせください。

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン

平成24年 2月1日発行 第15号
発行元 フリースタイルな僧侶たち 編集部
〒600-8119
河原町通五条下ル本塩町 583-5
kawaramachi place 1002号室
tel: 075-555-5730
fax: 075-777-9579
e-mail: info@freemonk.net
http://freemonk.net

※本誌のコンテンツを無断で転載することを固く禁じます。

題字	しらたきなべお
DTP&デザイン	bdt
輪番編集長	渡邊弘範
総指揮	池口龍法
Special Thanks	高野山大学